

北九州市感染症発生動向調査感染症週報

令和8年第16週(令和8年4月13日～令和8年4月19日)

<発生動向>

第16週は、多剤耐性緑膿菌感染症の報告が1件ありました。多剤耐性緑膿菌感染症は、第14週まで定点医療機関から薬剤耐性緑膿菌感染症として報告されていましたが、第15週から「全数把握疾患」に変更となった感染症です。

多剤耐性緑膿菌とは、広域β-ラクタム剤、アミノ配糖体、フルオロキノロンの3系統の薬剤に対して耐性を示す緑膿菌のことで、敗血症や腹膜炎などの感染症起こした場合、治療が難しくなります。医療施設において、この耐性菌の監視を十分に行うとともに、それらを増加させないため、「適切な薬剤」を「必要な場合に限り」、「適切な量と期間」使用することが重要です。

市民のみなさまも一人ひとりが、抗菌薬に対する正しい知識を持ち、正しい使い方をすることで、薬剤耐性を広げないようにしましょう。

■ 全数把握疾患報告

病名	北九州市		福岡県		全国(前週)	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	2	46	12	233	244	3,837
腸管出血性大腸菌感染症	1	5	5	24	44	495
レジオネラ症	1	5	2	20	32	469
多剤耐性緑膿菌感染症	1	1	2	3	3	3
梅毒	4	37	18	203	160	2,987
播種性クリプトコックス症	1	1	2	3	3	56

■ 定点把握疾患報告数

病名	北九州市			福岡県		全国(前週)	
	報告数	定点当たり	定点当たり(前週)	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	6	0.26	0.09	30	0.25	2,340	0.63
インフルエンザ	19	0.83	1.30	76	0.62	5,444	1.46
急性呼吸器感染症	1,201	52.22	36.22	6,054	49.62	162,008	43.47
RSウイルス感染症	20	1.54	1.23	89	1.27	1,186	0.53
咽頭結膜熱	15	1.15	1.23	50	0.71	529	0.23
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	47	3.62	2.46	385	5.50	5,132	2.28
感染性胃腸炎	90	6.92	6.08	436	6.23	10,396	4.61
水痘	4	0.31	0.08	53	0.76	736	0.33
手足口病	1	0.08	0.08	54	0.77	251	0.11
伝染性紅斑	3	0.23	0.08	5	0.07	184	0.08
突発性発しん	6	0.46	0.38	30	0.43	565	0.25
ヘルパンギーナ	0	0.00	0.00	7	0.10	74	0.03
流行性耳下腺炎	1	0.08	0.00	3	0.04	55	0.02
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	5	0.19	3	0.00
流行性角結膜炎	7	1.17	0.67	23	0.88	278	0.40
細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	2	0.13	9	0.02
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	1	0.07	9	0.02
マイコプラズマ肺炎	1	0.50	0.50	1	0.07	78	0.16
クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	0	0.00	3	0.01
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	1.00	0.00	2	0.13	33	0.07

※データは速報値として公開するものであり、後日修正される場合があります。

※全国のデータについては、更新時期が北九州市および福岡県の翌週となるため、前週の情報を掲載しています。

○北九州市感染症情報ホームページ(<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/18300149.html>)もご参照下さい。